

まち家族 ～木密地域におけるコミュニティの再形成～

1715004 市川亜美

現代の住宅は、核家族化に加え、敷地に選定した舞阪町の小路空間では、空き家の増加により家族が崩壊しつつある。計画として木密地域である敷地の区画整理を行い、新しい家族の在り方を提案する。まず既存住宅のリノベーションを行い、家の中のパブリックな部屋であるキッチンや風呂などを共有し、全体を1つの家族として捉える。そして、そのパブリックを繋ぐようにして、インフラ（新築）を差し込む。そこにはまちの循環を促す商店街を設けた。商店を訪れる人を含め、まち全体が家族となる。またそのインフラは火災や津波という災害を防御する。

